

一般質問



議員 坂口 尚示

大雨による農地の冠水対策について

Q 豊頃町が少雨でも十勝川上流で大雨となれば十勝川は増水し、本町で排水機場がない所の畑は冠水する。早急な対策が求められるが町長の考えは。

A 按田町長 これまでも台風や低気圧の襲来後に、河川の水位が上昇し、しばらくの間は排水機場、救急排水、移動用排水ポンプ等を稼働させる状況があったが、今回の8月15日からの降雨のように本町では降水量が少ないうえに、上流域での出水によって被害を受けると

いうことは、私も理不尽極まりないことだと考えている。現在排水機場の整備、救急排水施設の整備について、国会議員その他関係各所に要望を求めているところである。排水設備等の整備についてはハードルが高いところはあるが、今後も強く国に要望してまいりたい。



議員 岩井 明

マイナンバーカードの普及について

Q 本町におけるマイナンバーカードの普及状況は。

A 按田町長 現在政府では、令和4年度末までにほぼ全国民に行き渡ることを目指して、普及に取り組んでいるが、マイナンバーカードの普及は、8月末現在で全国では47・4%、北海道全体では44・6%というようにな5割に満たない状況であり、本町では38・9%と北海道全体の率にも満たしていないという状況となっている。このような状況が

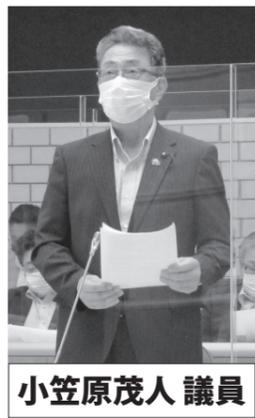
ら、「重点フォローアップ団体」に指定され、総務省から、マイナンバーカードの普及促進の取り組みを強化するように指示されているところである。

Q 本町における個人情報の漏洩に対する対策等は。

A 按田町長 マイナンバー制度における個人情報の漏洩に対する対策については、制度、システム両面で様々な安全管理という措置が講じられている。町では個人の申請によって発行機関からカードが町に送られてくるが、住民に交付するまでは施錠された耐火金庫に厳重に保管しているという状況である。

Q 国のマイナンバーカード普及の取り組み等に対する町長の見解は。

A 按田町長 国からも普及促進を図るよう話があり、マイナンバーカードの取得について様々な取り組みを実施しているところである。ただし、あくまで個人の意志による申請であり、取得するかしないかは任意となるが、基本的な考え方である全国どこでも便利で快適に暮らせる社会に向けて、安心



議員 小笠原茂人

世界的な原油、肥料、飼料の高騰により農業所得の減益が懸念される中、我が町における支援対策について

Q 国の原油・肥料高騰に対する支援策が打ち出されているが、町独自の農業関連の支援策についての考えは。

A 按田町長 海外情勢の不安定化や、円安などによる原油や輸入肥料、飼料価格の高騰などがみられ、一次産業のみならず全業種において影響が及ぶ状況となっている。町独自の施策に関しては、過去にリーマンショックによる原油高により生じた燃料等の高騰に対し、営農肥

安全で利便性の高いデジタル社会の早期実現を目指すという国の考え方に異論はないところである。このような点を踏まえ、町としてもマイナンバーカードの普及促進に努めていく。

料への独自支援を実施した経過がある。また管内の町村においても農家への独自助成に取り組むというところが報道されている。

今後国からの農業支援の状況により、本町がどの程度の支援を受けられるのかをしっかりと見極めたいと考えている。すでに担当課には関係機関や他の町村からの情報収集を含め、検討するよう指示をしている。

Q 飼料や肥料価格が高騰する中、農家、特に酪農家に対する政策的な水道料金の支援はできないか。

A 按田町長 物価高騰対策として、これから冬を迎えるにあたり、町民生活へ及ぼす影響を踏まえ、10月からの水道基本料金減免について予算の議決をいただいたところである。

酪農家に対しては、従来から実施している家畜飼養用水緊急対策事業を継続して実施することとしており、水道使用料金の支援については、一部の限られた業種だけでなく、町民や他の事業者を含め一律という考え方でやらせていただきたいと思います。

北海道町村議会議長会主催 議員研修会に参加



研修会講師の泉宏氏

7月6日(水)、札幌コンベンションセンター(札幌市)において、北海道町村議会議長会主催議員研修会が開催され、全議員が出席しました。研修会では、政治ジャーナリストの泉宏氏による「参院選最終情勢分析と選挙後の政局展望」と題した講演が行われました。

新型コロナウイルス感染症防止のため、人数制限や感染対策を十分に行った会場において、例年より時間を短縮した研修会でありましたが、時折X王を取りながら講演に耳を傾けました。

福島県相馬市議会 新市政 行政視察



相馬市議会新市政による行政視察の様子

7月27日(水)、福島県相馬市議会新市政(菊池清次会長ほか6名)が行政視察のため豊頃町へ来町しました。本町の農林水産業のブランド作物の振興について、その取り組みや課題、今後の展望などを本町職員から説明し、その後意見交換を行いました。意見交換終了後は、豊頃町農業協同組合の小麦乾燥施設、切干大根乾燥施設について、農協職員から説明を受け視察し、最後に二宮報徳神社を参拝しました。

滑川市議会議長 相馬市議会副議長来町



開会式における来賓紹介の様子

10月1日(土)、3年ぶりに「とよこる産業まつり」が開催され、来賓として本町の姉妹都市である滑川市から、高橋久光議長、柿沢昌宏副市長が、相馬市から立谷耕一副議長、佐藤栄喜総務部長が来町されました。産業まつり当日は好天に恵まれており、来町された皆様はまつりに参加されたのち、本町理事者及び議会議員と交流を深められました。